

# Safety Precautions

**UV INKJET PRINTER**  
**JFX200-2513 EX**  
**JFX200-1213 EX**  
**安全上の注意**

本書の最新版は、弊社ホームページからもダウンロードできます。

# 目次

---

はじめに .....	3
安全にお使いいただくために .....	4
マーク表示について .....	4
使用上の警告と注意 .....	5
設置上の注意 .....	11
警告ラベルについて .....	12
1. 使用上の制限について .....	16
使用上の制限 .....	16
使用者の制限 .....	16
エリア制限 .....	16
2. プリンタの操作時に回避すべき行為 .....	17
同意確認書 .....	21

# はじめに

この度はUVインクジェットプリンター JFX200-2513EX, JFX200-1213EXをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

安全に正しくお使いいただくために、安全上のご注意（以後、本書と称します）をよくお読みいただき、十分に理解してから使用してください。

本書で使用しているイラストは、機能や手順、操作の説明を目的としており、本機と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

© 2019 株式会社ミマキエンジニアリング

## ● 免責事項

- JFX200-2513EX, JFX200-1213EX（以後、本機と称します）の故障有無に関わらず、本機をお使いいただいたことによって生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機により作成された製作物に対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 弊社推奨品以外の装置などを使用すると、火災、または本機の破損事故のおそれがあります。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 弊社純正インク、メンテナンス液をご使用ください。それ以外を使用すると、プリント品質の低下、本機の故障のおそれがあります。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- インクボトルのインクを詰め替えないでください。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 弊社純正不凍液をご使用ください。それ以外の不凍液を使用すると、冷却装置が故障するおそれがあります。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- UV-LEDユニット、UV電源装置は、弊社純正品以外は絶対に使用しないでください。弊社純正品以外を使用すると、本機の故障、感電、火災のおそれがあります。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。

## ● テレビ、ラジオの受信障害について



- 本機稼働中は、高周波が発生しています。不適切な条件下で使用した場合、テレビやラジオの受信障害が発生するおそれがあります。特殊なテレビやラジオに対して、保証しておりません。

テレビやラジオの受信障害が発生したら、本機の電源を切ってから、テレビやラジオの受信状態をご確認ください。電源を切って受信障害が解消すれば、本機が原因と考えられます。

次の手順のいずれか、またはいくつかを組み合わせることで試してください。









- テレビやラジオのアンテナの向きを変えて、受信障害の発生しない位置を探してください。
- テレビやラジオは、本機から離れた場所に設置してください。
- テレビやラジオは、本機が接続している電源供給経路とは別のコンセントに接続してください。

# 安全にお使いいただくために

## マーク表示について

本書では、マーク表示により操作上の注意内容を説明しています。注意内容により表示するマークは異なります。各マーク表示の持つ意味を理解し、本機を安全に正しくお使いください。

### ● マーク表示の例

内 容		
 警告	警告	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷のおそれがある内容を示しています。必ずよくお読みになり、正しくお使いください。
 注意	注意	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、軽傷または中程度の負傷のおそれがある内容を示しています。
 一般警告	一般警告	注意しなければならない事項を示しています。具体的な注意事項は▲の中に描かれます。
 一般強制指示	一般強制指示	実行しなければならない事項を示しています。具体的な指示内容は●の中に描かれます。
 一般禁止	一般禁止	してはいけない事項を示しています。具体的な禁止内容は⊘の中に描かれます。
 重要!	重要	本機をお使いいただく上で、知っておいていただきたい内容が書かれています。操作の参考にしてください。
 ヒント	ヒント	知っておくと便利なことが書かれています。操作の参考にしてください。
 参照情報	参照情報	関連する内容の参照ページを示しています。文字をクリックすると該当ページが表示されます。

## 使用上の警告と注意

### ● 異常事態が発生したら

#### ⚠ 警告



- ・ 誤ってインク、メンテナンス用洗浄液を飲み込んだ場合は、安静にして直ちに医師の診断を受けてください。嘔吐物は、飲み込ませないください。その後、(財)日本中毒情報センター 中毒110番に連絡してください。  
大阪：072-727-2499  
つくば：029-852-9999
- ・ 蒸気を大量に吸い込んで気分が悪くなった場合は、直ちに空気の新鮮な場所に移り、暖かくして呼吸しやすい姿勢で安静にしてください。また、直ちに医師の診断を受けてください。
- ・ 万一、金属、水、液体などの異物が本機内部に入ったときは、すぐに電源を切ってください。その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。
- ・ インク漏れが発生した場合は、主電源スイッチをオフにして電源プラグを抜いてから、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。



- ・ 万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常事態が発生したら、すぐに電源スイッチをオフにして、その後必ずプラグをコンセントから抜いてください。異常事態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。煙が出なくなるのを確認してから、販売店または弊社営業所に修理をご依頼ください。
- ・ お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

### ● インク、洗浄液について

#### ⚠ 警告



- ・ インク、メンテナンス用洗浄液の取り扱い前に必ず安全データシート（SDS）をお読みください。
- ・ 一部成分において、水生生物に対する毒性があります。自然水系、生活排水への漏洩流出を防いでください。
- ・ インクが皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに石けんや水で洗い流してください。万一インクが目に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師の治療を受けてください。
- ・ 廃インクは、使用している地域の条例に従って処分してください。
- ・ インク、メンテナンス用洗浄液は、冷暗所で保管してください。また子供の手の届かない場所に保管してください。



- ・ インク、メンテナンス用洗浄液を取り扱う場合は、換気に十分注意して、必ず付属の保護メガネと手袋を着用してください。インク、メンテナンス用洗浄液が目に入るおそれがあります。



#### ⚠ 注意



- ・ 専用インク以外を使用すると、故障の原因になります。この場合には保証の対象外となり、専用インク以外を使用して故障した場合の修理は、お客様の負担になりますのでご了承ください。
- ・ インクボトル内のインクを詰め替えないでください。この場合には保証の対象外となり、詰め替えたインクを使用して生じた不具合について、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ・ 専用インクは、他のプリンタで使用しないでください。プリンタが壊れるおそれがあります。

### ● インクボトルの取り扱い

#### ⚠ 警告



- インクボトルにインクに関する注意書きが記載されています。よくお読みいただき、十分に理解してから使用してください。
- インクボトルや廃インクタンクは、子供の手の届かない場所に保管してください。

### ⚠ 注意



- インクボトルを寒い所から暖かい所に移した場合は、使用する場所に3時間以上放置してから利用してください。
- インクボトルは使用直前に開封し、早めを使い切ってください。開封後、長時間経過したものは、印刷品質が低下するおそれがあります。
- 専用インク以外のインクを使用すると、装置保護のため、動作しません。



- インクボトルを強くたたいたり、激しく振り回さないでください。ボトルからインクが漏れるおそれがあります。

### ● 可動部に注意

### ⚠ 警告



- 危険な可動部に、指や体の他の部分を近づけないでください。怪我をするおそれがあります。

### ● 警告ラベルについて

### ⚠ 注意



- 本機には、警告ラベルが貼ってあります。警告ラベルの内容を十分理解してください。なお、警告ラベルが汚れて読めなくなったり、剥がれた場合は、販売店、または弊社営業所にて新しい警告ラベルをお買い求めください。

### ● 紫外線 (UV)、UV-LEDについて

### ⚠ 警告



- LED UV装置は非常に高温になります。メンテナンスを行う時は、LED UV装置消灯後、十分温度が下がってから行ってください。やけどのおそれがあります。



- LED UV装置周辺から多少の紫外線漏れがあります。手袋、長袖の服、顔面部は遮光面、遮光メガネなどを着用し、紫外線を皮膚や目に浴びないようにしてください。
  - (1) 紫外線を皮膚や目に浴びると、炎症や皮膚ガンを起こすおそれがあります。
  - (2) 弱い紫外線で炎症を起こさない場合でも、反復暴露により慢性障害に発展するおそれがあります。
  - (3) 点灯中のランプを肉眼で見ると、目の痛みや視力障害を起こすおそれがあります。
  - (4) 紫外線による目の障害が発生するおそれがあります。
    - 急性障害: 異物感、とう痛、涙が流れるなど
    - 慢性障害: 白内障など



- 点灯中のLED UV装置は絶対に直接肉眼で見ないでください。目の痛みや視力障害の原因になります。必ず付属の保護メガネを着用してください。



- 紫外線 (UV) を皮膚に直接あてないでください。皮膚の炎症を起こす原因になります。

### ⚠ 注意



- LED UV装置などの高温部に可燃物が触れると、発火、発煙の可能性があります。また、LED UV装置の下に数秒間、可燃物を放置すると、発火、発煙の可能性があります。



- LED UV装置下面のガラスは、必ず付属の手袋をはめて取り扱い、素手で触れないでください。UV硬化が著しく低下する原因になります。汚れがついた場合には、エタノールで湿らせた清潔なガーゼなどで拭いてください。（外側カバーはエタノールで拭かないでください。塗装がはげます。）



- 弊社推奨のLED UV装置、UV電源装置以外は絶対に使用しないでください。弊社推奨品以外を使用すると、火災または装置が破損するおそれがあります。この場合には保証の対象外となり、弊社推奨品以外を使用して生じた不具合について、弊社は一切責任を負いかねます。
- ガラス製品のため、落下させたり、物をぶついたり、無理な力を加えたり、キズをつけたりしないでください。

## ● 接地工事について

### ⚠ 警告



- コンセントの増設には、感電事故防止のため接地工事が必要です。
- 接地工事は、C種接地工事（特別第3種接地工事）を行ってください。
- 接地工事は、感電事故防止のため必ず行ってください。

## ● 設置場所、使用環境について

### ⚠ 警告



- インクに引火する可能性があるため、本機を使用する場所は火気厳禁としてください。



- 換気の悪い部屋、または密閉された部屋で使用する場合は、必ず換気装置を設けてください。
- 本機は防爆タイプではありません。危険物雰囲気で使用しないでください。爆発などのおそれがあります。
- 排気口施工時には、本機の故障を防ぐため、下記の注意を必ずお守りください。
  - 排気口の設置については各国の地域のEHS（Environmental, Health and Safety）ガイドラインに従ってください。
  - 排気口に閉鎖弁などを設置する場合、本機使用時は必ず閉鎖弁を開けてください。



- 引火する危険性の雰囲気（ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・粉塵など）で使用しないでください。引火による火災や感電の原因になります。
- 紙や布をLED UV装置に近づけたり、覆ったりしないでください。火災の原因になります。



- 湿気の多い場所では使用しないでください。また、装置に水をかけないでください。火災や感電、故障の原因になります。



- 本機に子供を近づけないでください。

### ⚠ 注意



- できるだけホコリの少ない部屋で利用してください。
- この機器は子供がいる可能性のある場所での使用には適していません。
- ヘッド周辺にホコリが付着すると、インクのしずくが落ちる原因になります。ヘッドをクリーニングしてください。
- 本機を水平に保つようにしてください。



## ● テーブルに乗らない

### ⚠ 警告



- ・ テーブルの上には絶対に乗らないでください。盤面精度が狂うおそれがあります。

## ● 電源、電圧について

### ⚠ 警告



- ・ 本機には、高電圧が発生している部分があります。電気工事は、必ず電気工事士の免許を持った人が行ってください。



- ・ 同梱されている電源ケーブルセットは本機専用です。本機以外の電気機器には使用できません。また、同梱されている電源ケーブルセット以外の電源ケーブルセットは、本機には使用しないでください。火災や感電の原因になります。
- ・ 延長コードは使用しないでください。火災や感電の原因になります。
- ・ 電源プラグの刃に金属などが触れると、火災や感電の原因になります。
- ・ タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因になります。
- ・ 電源ケーブルが傷んだり、芯線の露出・断線などが見られる状態で本機を使用しないでください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。サービス実施店にケーブルの交換を依頼してください。
- ・ 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- ・ 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源ケーブルを引っ張ると、ケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。
- ・ 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になります。
- ・ 表示された電源周波数以外では使用しないでください。火災や感電の原因になります。



- ・ 表示された電源仕様で使用してください。また、電源ケーブルのプラグは、必ずアース処理されたコンセントに差し込んでください。火災・感電の原因になります。



- ・ 電源ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重い物をのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源ケーブルが破損し、火災や感電の原因になります。
- ・ 本機の主電源スイッチの投入作業は、本機の操作方法を熟知した人以外には行わないでください。

## ● 電源供給について

### ⚠ 警告



- ・ ブレーカーは常時オンにしておいてください。

## ● 電源ケーブルについて

### ⚠ 警告



- ・ 付属の電源ケーブルを使用してください。

## ● 廃棄処分について

### ⚠ 警告





- 本機を廃棄したいときは、販売店またはサービス実施店にご相談ください。なお、お客様自身で廃棄処理される場合は、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。
- 不要になったインクボトル・廃インクは、販売店またはサービス実施店へお渡しください。なお、お客様自身で廃棄処理される場合は、産業廃棄物処理業者または各国の地域の条例に従って処理してください。

## ● バキュームの取り扱い

### ⚠ 警告



- バキュームの分解・改造は絶対に行わないでください。また、リリース弁（圧力調整弁）に触れたり、バキュームの排気口をふさがないでください。吸着力の低下および、発熱や故障の原因となります。（バキュームはテーブルの真下にあります。）

### ⚠ 注意



- 低温環境下で本機を使用すると、まれにバキュームから甲高い音が発生することがありますが、故障ではありません。

## ● 不凍液について

### ⚠ 警告



- 不凍液は、弊社専用の不凍液をご使用ください。それ以外の不凍液を使用すると、冷却装置が故障するおそれがあります。この場合には保証の対象外となり、生じた不具合について、弊社は一切責任を負いかねます。
- 不凍液は、直接肌に触れないようにしてください。  
万一、皮膚や衣服に触れてしまった場合は、石けんを使って、すぐに流水で洗い落とししてください。  
万一、不凍液が目に入った場合は、大量の流水で洗い、医師の診断を受けてください。
- 不凍液をご使用の前に、必ず安全データシート（SDS）をお読みください。
- 誤って不凍液を飲み込んだ場合は、直ちに吐かせ、医師の診断を受けてください。
- 静電気・衝撃火花による着火源が生じないように注意してください。
- 高温の不凍液混合水に触れた場合は、直ちに石けんや水で洗い落とし、氷水で十分冷やしてから、医師の診断を受けてください。
- 不要となった不凍液は以下の方法で処分してください。
  - (1) おがくず、ウエスなどに吸着させて、焼却炉で焼却する
  - (2) 免許を持った産業廃棄物処理業者に内容物を明確にして処理を委託する



- 不凍液を取り扱う場合は、必ず付属の保護メガネと手袋を着用してください。



### ⚠ 注意



- 不凍液は冷暗所で保管してください。また、子供の手の届かない場所に保管してください。

## ● 分解・改造はしない

### ⚠ 警告



- 本機やインクボトルの分解・改造は、絶対に行わないでください。感電や故障の原因になります。

## ● メディアの取り扱い

### ⚠ 警告



- 夜帰宅する際は、メディアをセットしたままにしないでください。メディアの上にホコリが付着する原因になります。

### ⚠ 注意



- 安定した高画質でプリントするために、弊社推奨のメディアをご使用ください。
- メディアの伸縮にご注意ください。包装を開けて間もないメディアは、使用しないでください。室内の温度や湿度によって、メディアが伸縮する場合があります。包装を開けて、使用する場所で30分以上さらしてから装置に取り付けてください。
- カールしたメディアは使用しないでください。メディアづまりの原因になるだけでなく、画質にも影響を及ぼします。また、カールのきついメディアは、カールを取り除いてから使用してください。コーティングした定型サイズ紙をまるめて保管する場合は、コーティング面が外側になるようにしてください。
- メディアはホコリがつかないように保管してください。メディアに付着したホコリを拭き取ると、静電気により逆効果になってしまいます。

## ● メンテナンスについて

### ⚠ 警告



- メンテナンス時には感電を防ぐために、必ず主電源スイッチをオフにし、電源プラグを抜いてください。また装置によっては、コンデンサーの電荷放電時間に1分間必要な場合があります。主電源スイッチをオフにし、電源プラグを抜いた後は、必ず3分後に作業するようにしてください。



- 高温注意銘板が貼ってある部分およびその付近は、絶対に触らないでください。触るとやけどのおそれがあります。万一、高温部に触る時は、断熱性のある手袋を着用して手の皮膚を保護してください。



- ヘッドやワイパー、キャップなどを清掃する際は、必ず付属の保護メガネと手袋を着用してください。



- 水のかかる場所での使用は、漏電の可能性が非常に高くなります。水のかかる場所での使用は避けてください。万一、漏電が発生すると、作業員の感電や火災に発展する場合があります。

### ⚠ 注意



- 長年の使用により装置導電部や絶縁部にゴミやホコリがたまり漏電する場合があります。定期的に清掃をしてください。
- 圧縮空気の吹き付けは行わないでください。ゴミやホコリが飛散し、導電部に侵入して動作不良を起こすおそれがあります。必ず掃除機を使用して、ゴミやホコリを吸い取ってください。
- 事故防止のため、定期点検、定期交換部品の交換などは必ず行ってください。
- 本機には定期的に交換する部品があります。保守契約をしていただくことをお勧めします。
- 長年の使用により安定器やその他使用部品にゴミやホコリがたまり、漏電や絶縁劣化による発火、発煙のおそれがあります。定期的な清掃、絶縁抵抗測定による劣化部品の交換をしてください。
- 長年の使用により導電部のネジなどが緩むことで、発火、発煙のおそれがあります。定期的な増し締めを行ってください。

## 設置上の注意

本機を設置する場合は、以下にご注意ください。

### ⚠ 警告



- 本機は、専用の個室に設置する、囲みを設けるなど物理的な方法により確実に隔離できる場所に設置し、プリンタおよびインク供給ユニットに容易に手が届かないよう、隔離エリアを設定してください。
- 隔離エリアには、弊社が実施する安全教育の受講者、もしくはその受講者から教育を受けた方のみとし、安全教育受講者以外は立ち入り禁止としてください。  
本機が動作中に教育を受けていない方が隔離エリア内に入ると、プリント中のYバーに当たるなどケガなどをする危険性があります。
- 本機を使用するオペレーターは、弊社が実施する安全教育の受講者、もしくはその受講者から教育を受けた方のみとしてください。

### ⚠ 注意



次の環境下でお使いください。

- 動作可能環境：15～30℃（59～86°F）35～65% Rh（結露なきこと）
- 精度保証温度：20～25℃（68～77°F）



次の環境下では使用しないでください。

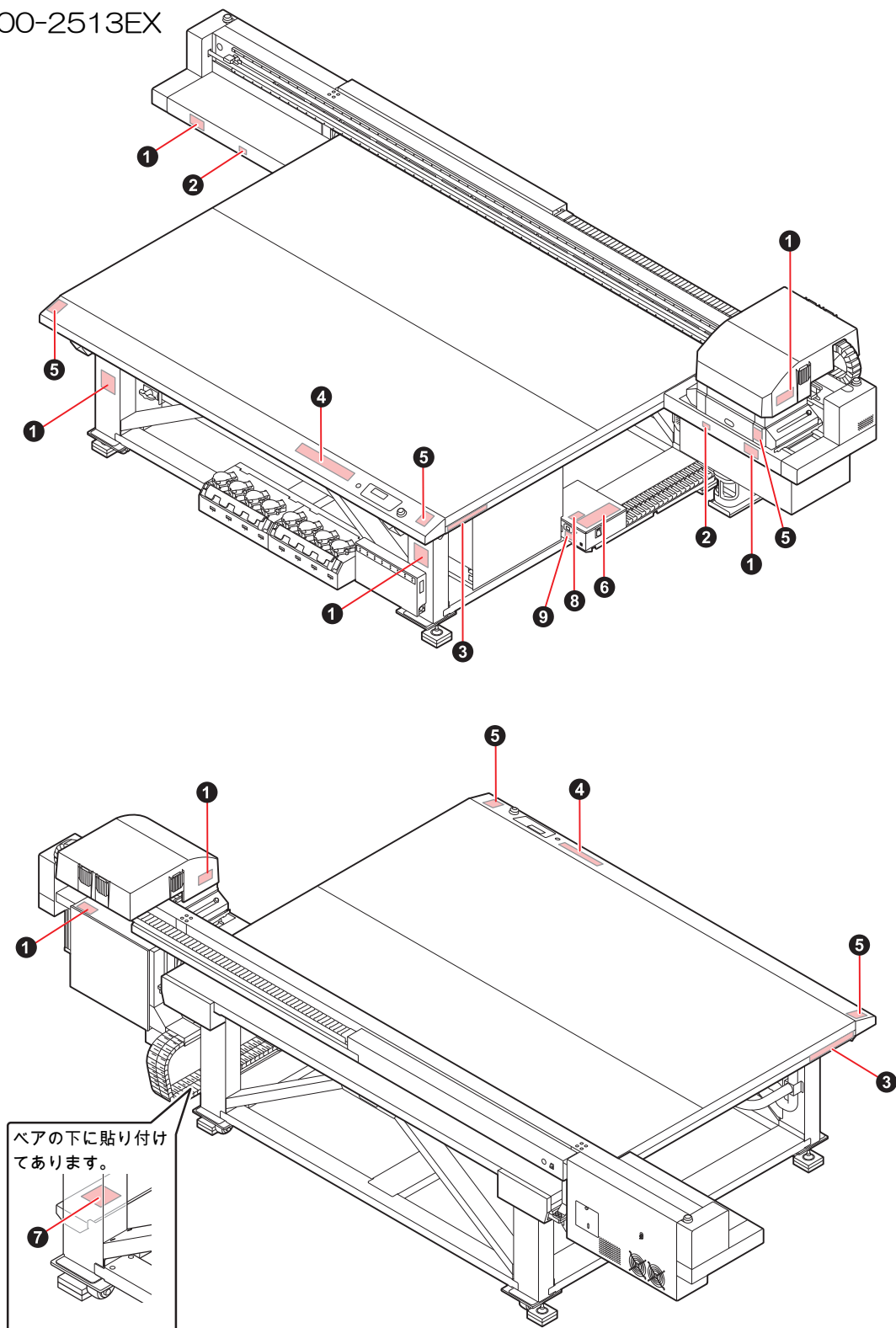
- 直射日光が当たる場所
- 水平でない場所  
(機械が水平でないと画質不良の原因になる場合があります)
- 振動が発生する場所
- エアコンなどの風が直接当たる場所
- 火を使う場所
- 埃が多い場所
- 周囲に化学薬品がある場所

# 警告ラベルについて

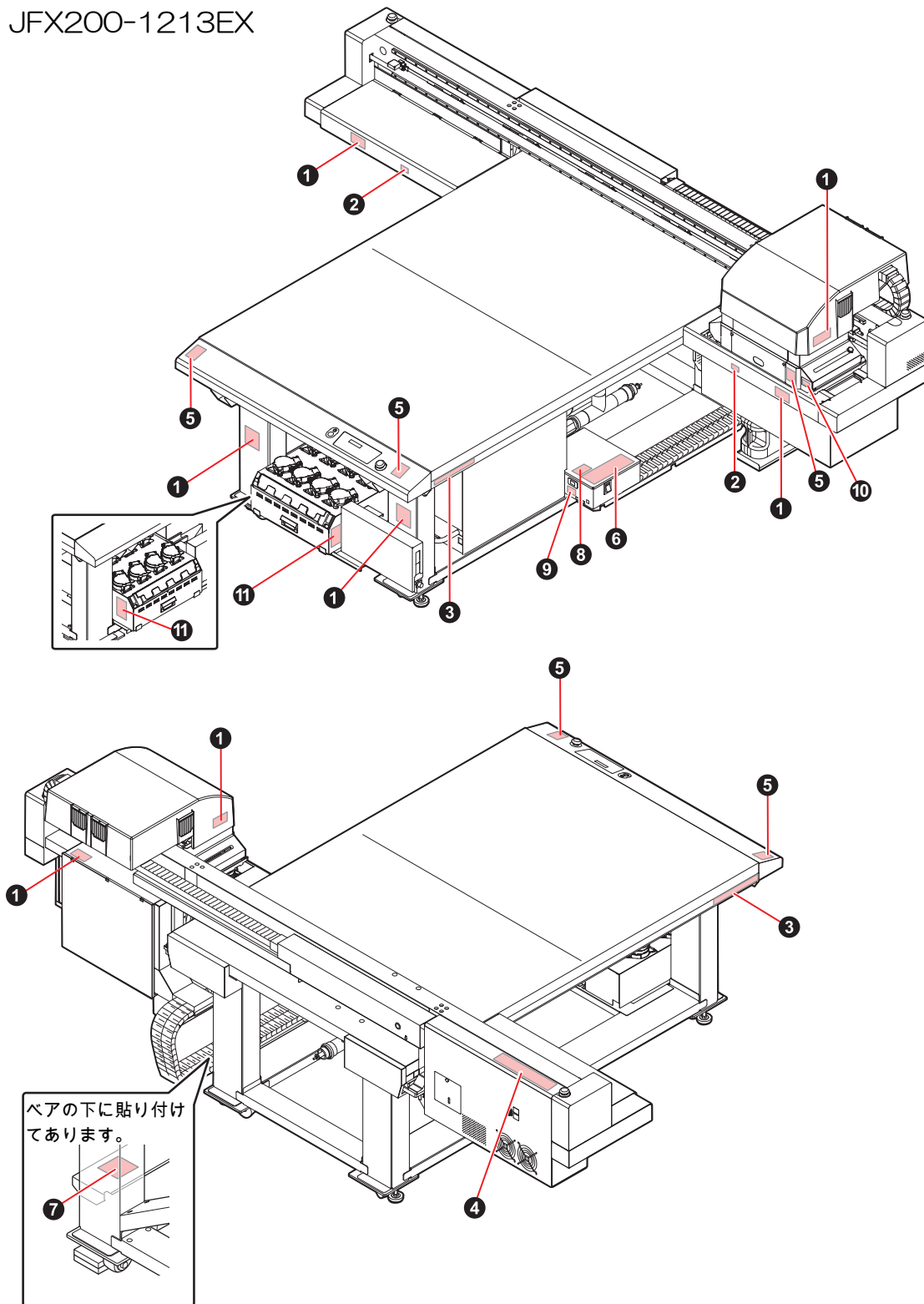
本機には、下記の警告ラベルが貼ってあります。警告ラベルの内容を十分理解してください。





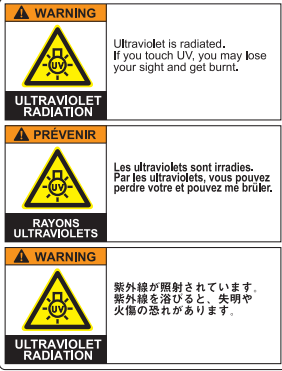
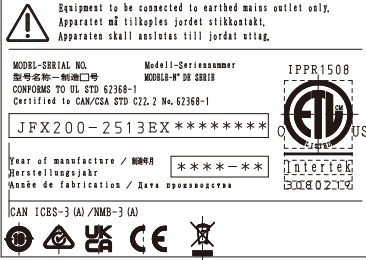
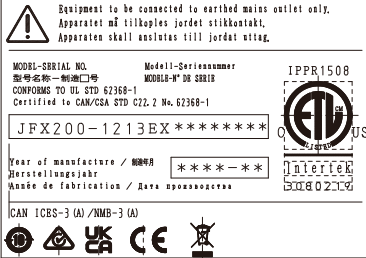

なお、警告ラベルが汚れて読めなくなったり剥がれたりした場合は、販売店または弊社営業所で新しい警告ラベルをお買い求めください。




JFX200-2513EX



JFX200-1213EX



No.	注文番号	ラベル
1	M909381	
2	M903330	
3	M906115	
4	M902663	
5	M905980	
6	M916117 (JFX200-2513EX)	
	M919315 (JFX200-1213EX)	
7	M909385	

No.	注文番号	ラベル
8	M903281	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>See SET UP GUIDE before connecting to the supply.            電源を接続する前に、必ずセットアップガイドを読むこと。            在接通电源之前请一定阅读安装说明书。</p> </div>
9	M907935	
10	M919473 (JFX200-1213EXのみ)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>RISK GROUP 2</p> <p>•CAUTION UV emitted from this product.            •Eye or skin irritation may result from exposure.            Use appropriate shielding.</p> <p>-----</p> <p>GROUPE DE RISQUE 2</p> <p>•ATTENTION : UV emis par ce produit.            •L'exposition peut provoquer une irritation yeux ou de la peau. Use appropriate shielding.</p> </div>
11	M907764 (JFX200-1213EXのみ)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <div style="background-color: yellow; border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;"> <p>注意   CAUTION            ATTENTION</p> </div> <div style="text-align: center; margin: 5px 0;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>上部に乗るな            DO NOT STEP ON TOP            NE GRIMPEZ PAS DESSUS</p> </div> </div>



# 1. 使用上の制限について

## 使用上の制限

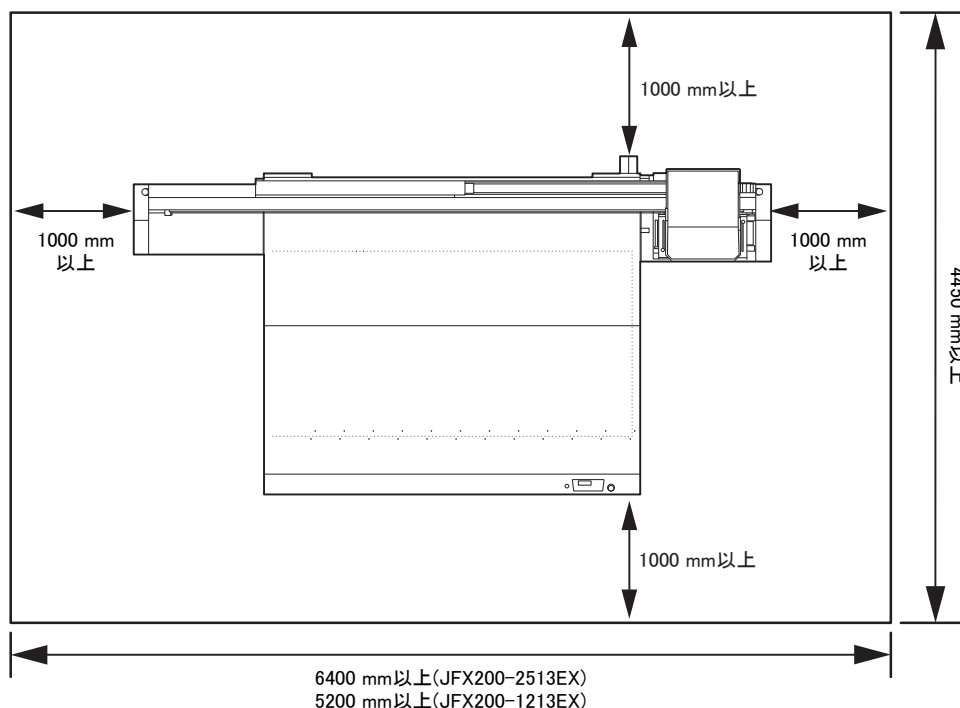
本機は高速可動部、高温部およびUV照射部を有し非常に危険です。本機の使用は、それらの危険性を十分理解した使用者に限られます。

## 使用者の制限

本機を使用するオペレーターは、弊社が実施する安全教育の受講者、もしくはその受講者から教育を受けた方のみとしてください。

## エリア制限

- 適切な訓練を受けた使用者以外の者が装置に近づくことを禁止します。下図に示す範囲でエリア制限を設けてください。エリア制限の方法は、本機を専用の個室に設置する、囲みを設けるなど、危険なエリアであることを認識させる必要があります。
- 危険エリアには、弊社が実施する安全教育の受講者、もしくはその受講者から教育を受けた方のみとし、安全教育受講者以外は立ち入り禁止としてください。本機が動作中に教育を受けていない方が隔離エリア内に入ると、プリント中のYバーに当たるなどケガなどをする危険性があります。
- 安全棚にてエリア制限を行う場合は、EN ISO13857規格にて従う安全棚を設けてください。
- 専用の部屋に設置する場合は、部屋の扉への鍵やインターロックを設け、最終的に設置現場にてリスクアセスメントを実施の上、ご使用ください。



## 2. プリンタの操作時に回避すべき行為

プリンタの操作時に以下のような行為を行うと、ケガなどをする危険性があります。

### ● キャリッジ周辺に顔や手など体の一部を近づけたり、入れたりしない



- キャリッジとYバーの隙間に顔や手など体の一部を近づけたり、入れたりしないでください。



- キャリッジとテーブルまたはステーションの隙間に顔や手など体の一部を近づけたり、入れたりしないでください。



### ● Yバーとテーブルの隙間に顔や手など体の一部を近づけたり、入れたりしない



- Yバーとテーブルの隙間に顔や手など体の一部を近づけたり、入れたりしないでください。



● 可動部に顔や手など体の一部を近づけたり、入れたりしない



- ・ Yバーのベルトに顔や手など体の一部を近づけたり、入れたりしないでください。



● ベア部に顔や手など体の一部を近づけたり、入れたり、物を置かない



- ・ Yバーやテーブル下のベア部に顔や手など体の一部を近づけたり、入れたり、物を置かないでください。



● テーブルの下に顔や手など体の一部を近づけたり、入れたりしない



- ・ テーブルの下に潜り込んだり、顔や手など体の一部を入れたりしないでください。

● テーブルに手や物を置かない



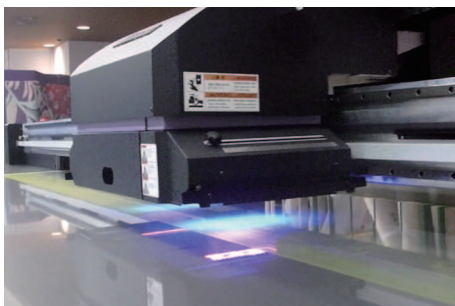
- ・ テーブルに顔や手など体の一部、またはメディア（厚さ50mm未満）以外の物を置かないでください。



## ● UV-LEDを直視しない



- UV-LEDを直視しないでください。椅子などに座って作業しているときは、キャリッジと頭の位置が同じ高さになっているので特に注意してください。また、LED UVユニットおよびその周辺は高温になっており、火傷の危険があります。手を触れないようにご注意ください。



## ● キャリッジの動作を妨げない

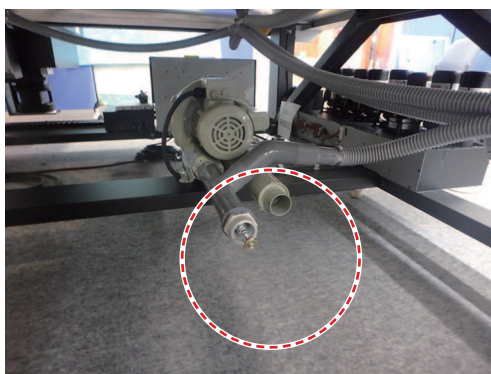


- キャリッジが動作中（プリントやクリーニングなど）は、無理矢理キャリッジを動かさないでください。

## ● 吸着バキュームの排気口前に物を置かない



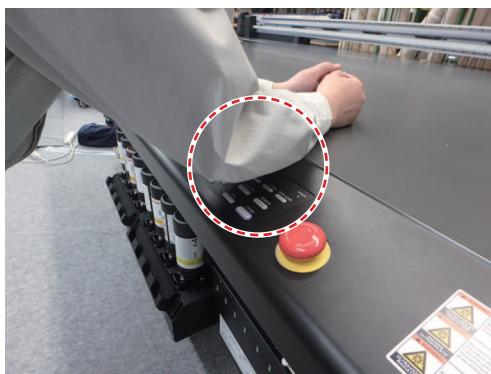
- 排気口から排出される熱により、変形する恐れがあります。



## ● 操作パネルのボタンを、誤って押さないように注意する



- 誤って押した場合、急な動作により思わぬ事故につながります。



## ● 本機を使用するときは、保護メガネを着用する

UV光の漏れによる目の障害を防止するため、本機をご使用になるときは、保護メガネの着用をお勧めします。

● **インク交換をするときは、以下のことに注意する**

- インクのはねによる手や目に付着することを防止するため、必ず付属の保護メガネと手袋を着用してください。
- インクカバーを引っ張りすぎないでください。  
チューブやケーブルが傷つきます。
- インクボトルを交換するときは、ウエス等で周囲を養生してから行ってください。フロート部からのインク垂れにより周囲が汚れてしまいます。

● **メンテナンスを行うときは、保護メガネと手袋を着用する**

インク交換など本機のメンテナンスを行うときは、必ず付属の保護メガネと手袋を着用してください。  
また、必要によってはガスマスクを着用してください。







## JFX200-2513EX /JFX200-1213EX 安全上の注意

2024年10月

発行者 株式会社ミマキエンジニアリング  
発行所 株式会社ミマキエンジニアリング  
〒389-0512  
長野県東御市滋野乙2182-3

